

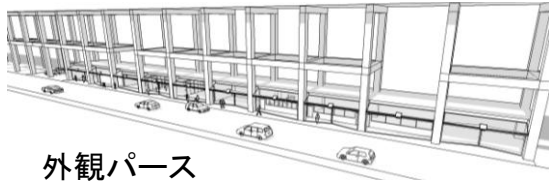
新幹線高架下のレンタルスペース

設計の背景

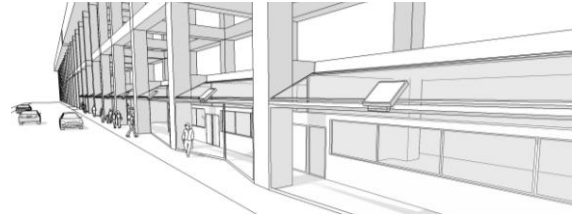
平成26年に北陸新幹線が開通し、野々市町にも新幹線の高架橋が架けられる。この「高架下の有効利用」をメインテーマとし、地域の活性化に繋がるような利用方法を検討した。利用方法について住民へのアンケートを実施したところ、商店や、バス・タクシーの乗り場、貸し倉庫などの意見が寄せられた。そこで、高架下には地域住民のために使え、利用方法を限定しないレンタルスペースを設計することとした。

コンセプト

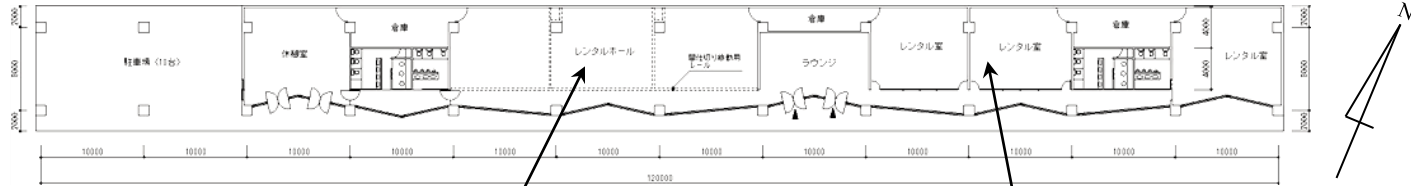
レンタルして使える空間は2種類用意し、様々な用途に対応できるようにした。300㎡という広い空間をもつ「レンタルホール」は主に作品展示やフリーマーケットが行える空間として設計した。移動式の間仕切り壁により、さらに空間を仕切ることができる。「レンタル室」は1部屋80㎡であり、壁の防音性を向上させて、音楽活動や会議の場として使えるようにした。10台分の駐車場と休憩室も設け、レンタルホールで催し物が無い時でも、地域の交流の場として使うことができる。



外観パース



設計地は野々市駅から国道8号線にかけて架けられる高架の下である。今回は高架橋の柱12スパン分を使用して設計を行った。西側2スパンを駐車場とし、これに面して休憩室を設けた。レンタルホールは3スパンを使用して最大300㎡を確保し、レンタル室はそれぞれ1スパンの80㎡である。利用のし易さを考慮し、トイレは東西の2箇所に設けた。



平面図

レンタルホール



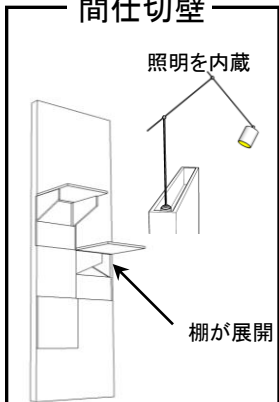
レンタルホールは最大で300㎡を使うことができ、用途によって間仕切りで仕切ることができる。作品展示やフリーマーケットといった地域の交流の場として利用できる

レンタル室



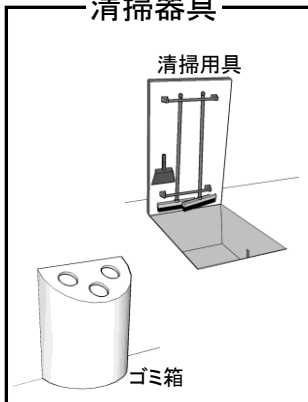
レンタル室は1部屋80㎡であり、個室としてレンタルできる。窓には積層ガラスを用いて防音性能を向上させており、バンドなどの音楽活動や会議の場として利用できる。

間仕切り壁



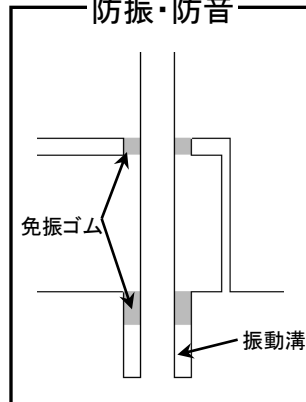
間仕切り壁は、レールによって移動するものと手で運ぶものの2種類があり、それぞれに照明器具を内蔵する。

清掃器具



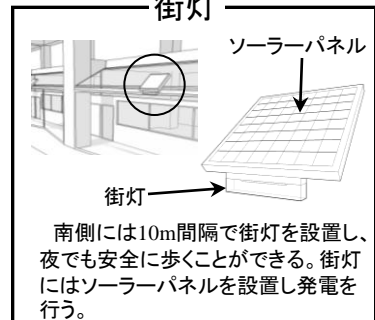
清潔維持のため、ゴミ箱と清掃用具を常備する。壁は抗菌と脱臭に効果のある光触媒による仕上げとする。

防振・防音



高架からの振動・騒音防止のために、建物を高架から離して免振ゴムを使用する。壁には防音材を使用して騒音を防止する。

街灯



南側には10m間隔で街灯を設置し、夜でも安全に歩くことができる。街灯にはソーラーパネルを設置し発電を行う。

金沢工業大学
2007年度 工学設計II

プロジェクトテーマ : 新幹線高架下のレンタルスペース
チーム番号 : VA305-1
チーム名 : ソケット
チームメンバー名 : 中島岳史 中村匠里
服部晋也 古澤潔
本田沙耶香 和久田真路
担当教員名 : 下川雄一